

令和 2 年度事業報告書

令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 3 1 日まで

N P O 法人コロボックル・プロジェクト



1 事業の成果

令和2年度は、計画していた事業を概ね実施することができた。

自然環境（動物）調査により、自然度の高さを示す指標となるムササビやフクロウ、カヤネズミ、ゲンジボタル、ヘイケボタルの生息を確認した。

カヤネズミ調査では、巣の発見は4個で令和元年と同じだった。一昨年度カヤネズミの巣が激減した場所は近隣にイノシシのぬた場が残っており、巣が多くみられる植物群落中には見られなくなっているが、昨年同様複数の巣が確認できた。

花園インター線工事（平成 29 年 3 月工事終了）後個体数が減っているとみられる成道寺川のドジョウに関しては、依然回復の傾向が認められない。工事の影響がほぼなかったとみられていたヤマトシマドジョウもここにきて激減しており、今後のモニタリングが欠かせない。

平成 30 年 4 月、成道寺川で特定外来生物のブラジルチドメグサを初めて確認し、熊本市の環境共生課に相談した。同年、環境共生課による駆除作業が一度は行われたものの根絶には至らず、このところ群落の拡大傾向が認められる。成長の早い植物であるため、早急になんらかの対策を講じる必要がある。

また、ホタル調査では、ゲンジボタルは一日当たりの最大発生頭数は5月27日257頭、ヘイケボタルは6月15日の9頭だった。これは令和元年に比べ、ゲンジボタルで8頭増加、ヘイケボタルで2頭の減少になる。この増減は誤差の範囲だと思われる。どちらにしても、減少傾向が続いておりまだ工事の影響が続いているのかもしれない。

平成 20 年度の秋より参加しているモニタリング 1000 里地調査では、特筆すべき発見はなかったが、これまでに確認されている哺乳類については概ね確認できた。

調査結果の公開事業のうち、「コロボックル探検隊」では新型コロナウイルス感染予防のため中止した事業もあったが、柿原の迫谷を中心に、ゲンジ・ヘイケボタルやカヤネズミ・水辺の生きもの、里やまの生きものについて、モニ 1000 調査などの方法を紹介しながら「調査・観察会」として初めて実施し、50 名ほどの親子が参加した。

「金峰山学講座 X」でも中止した事業があったが、薬草調べや古道トレッキング（新たな古道も）、湧水群巡り、ムササビ調査・観察会など、自然や歴史・文化などに関する講座に 60 名ほどが参加しさらに充実できた。

広報誌は、コロボックル探検隊や金峰山学講座 X をはじめ、花・夢プロジェクト 3、第 7 回やんちゃキャンプ他の活動について、随時 LINEG 等をとおして発行することができた。

まちづくりの支援事業では、「花・夢プロジェクト 3」として岳地区ではもち米づくりはじめ、サトイモ・ショウガや大豆などの種おろしから収穫、調理活動のほかみそづくりや竹の子ほりに、初めての柿原地区ではサトイモなどの収穫・調理活動に、地元や地域外の方々（2 事業は公益社団法人 熊本法人会との共催）など 210 名ほどが協働して、農業・農村の多面的機能（生物多様性の豊かさ）を感じながら取り組むことができた。

子どもの自然体験活動の支援事業では、金峰森の駅みちくさ館周辺での里山（デイ）キャンプで湧水・史跡巡りや化石探し、魚釣りに川遊び、バーベキューに 10 名ほどが参加して様々な体験ができた。

障がい児・者の発達相談事業では、子ども発達支援・相談センターコロボックルとして、5回 20名ほどの茶話会（ビデオ通話も活用）でケース会議やキャンプに取り組むことができた。

発達支援事業では、動物介在教育チームカイハラとの協働で、第7回やんちゃキャンプを南阿蘇で、夏は中止したが秋・冬と開催とともに家族での参加20名で、生きもの共生教育を新たに充実することができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
自然環境の調査	動植物の調査	通 年	金峰山 一帯	3 人	全国の関係者 27,000人	6
一 調査結果の公開	コロボックル探険 隊 (5事業)	通 年	金峰山 一帯	14人	県内の参加者 46人	24
	金峰山学講座X (6事業)	通 年	金峰山 一帯	12人	県内の参加者 46人	32
	ホームページ管理 (FB・LINEG)	通 年	ネット上	2人	全国の視聴者 90人	0
	年会誌発行「広報」	通 年	会員他	2人	会員他 200人	0
まちづくりの 支援 (10事業)	花・夢プロジェクト3	通 年	金峰山 ・岳地区	18人	県内の参加者 125人	125
	田んぼ (3事業)		・岳地区	13人	65人	209
	畑 (6事業) (1事業)		・柿原		23人	
子どもの自然体験 活動の支援	里山キャンプ (1事業)	9月	金峰山 一帯	2人	会員他 8人	14
障がい児・者の 発達相談事業	茶話会5回	5～7月 9～11月	熊本市 荒玉地 域	1人	障がい当事者 ・関係者20 人	3
障がい児・者の 発達支援事業	やんちゃキャンプ	10・12月	南阿蘇	25人	対象児外 20人	154

令和2年度 活動計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(NPO法人コロボックル・プロジェクト)

科目	金額 (単位:円)	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	109,000	109,000
2 受取寄附金		
受取寄附金	0	
施設等受入評価益	0	0
3 受取助成金等		
受取助成金(子どもの未来応援基金)	100,000	
受取助成金(花園校区自治協議会)	20,000	
受取助成金(公益社団法人 熊本法人会)	190,043	
受取補助金		310,043
4 事業収益		
調査結果の公開(探検隊)事業収益	19,300	
調査結果の公開(金峰山学講座)事業収益	71,000	
まちづくりの支援(花・夢PJ3)事業収益	171,900	
子どもの自然体験活動の支援事業収益	39,000	
障がい児・者の発達相談事業収益	0	
障がい児・者の発達支援事業収益	64,000	365,200
5 その他収益		
受取利息	0	
雑収入		19,400
経常収益計		803,643
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	0	
臨時雇賃金	0	
法定福利費	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
会議費	0	
旅費交通費	59,123	
諸謝金	60,000	
通信運搬費	16,991	
広告宣伝費	0	
消耗品費	312,638	
修繕費	0	
受託費	0	
保険料	18,061	
印刷製本費	30,243	
雑費	69,978	
その他経費計	567,034	
事業費計		567,034
2 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	0	
役員報酬	0	
福利厚生費	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
旅費交通費	16,335	
通信運搬費	9,330	
印刷製本費	23,151	
消耗品費	27,585	
備品費	0	
会議費	13,431	
雑費	37,373	
その他経費計	127,205	
管理費計		127,205
経常費用計		694,239
当期経常増減額		109,404
III 経常外収益		
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
経常外費用計		0
当期正味財産増減額		109,404
前期繰越正味財産額		26,200
次期繰越正味財産額		135,604

令和2年度貸借対照表
令和3年3月31日現在

(NPO法人コロボックル・プロジェクト)

科目	金額(単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	80,396		
預金	71,903	財産目録	預金貯金
.....			
流動資産合計		152,299	
2 固定資産			
.....			
.....			
.....			
固定資産合計		0	
資産合計		A	152,299
II 負債の部			
1 流動負債			
.....			
.....			
.....			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
長期借入金	16,695		
.....			
.....			
固定負債合計		16,695	
負債合計		B	16,695
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	E	26,200	
当期正味財産増加額(減少額)	F	109,404	C-E
正味財産合計	C	A-B	135,604
負債及び正味財産合計	D		152,299

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。
- 2 「その他の事業」を実施している場合でも、貸借対照表の区分経理は省略することができる。区分経理を行なう場合はタイトルに〇〇年度「特定非営利活動に係る事業」、又はその他の事業を行う場合にあつては「その他の事業」会計貸借対照表と記載し、それぞれ区分して別表として作成する。
- 3 前事業年度の末日現在における資産、負債及び財産を記載する。

計算書類の注記(令和2年度)

NPO法人コロボックル・プロジェクト

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

2. 事業費の内訳

(単位：円)

科目	自然環境の調査 事業費	調査結果の公開 事業費		まちづくりの支援 事業費		子どもの自然体験 活動の支援事業 費	障がい児・者の発達 相談事業費	障がい児・者の発達 支援事業費(キャンプ)	合計
		講座	探検隊	たんぼ	畑				
(1) 人件費									
給料手当									0
臨時雇賃金									0
福利厚生費									0
人件費計	0		0		0	0	0	0	0
(2) その他経費									
会議費									0
旅費交通費	6,000	5,000	3,000	11,000	18,000	1,000	1,000	14,123	59,123
諸謝金					20,000			40,000	60,000
通信運搬費			250	214	1,680			14,847	16,991
広告宣伝費									
消耗品費		21,302	8,392	82,694	126,091	10,781	2,469	60,909	312,638
修繕費									
受託費									
保険料		2,548	5,040	4,116	2,744	560		3,053	18,061
印刷製本費		1,400	7,469	4,467	5,267			11,640	30,243
雑費		1,576	400	22,317	34,880	1,900		8,905	69,978
その他経費計	6,000	31,826	24,551	124,808	208,662	14,241	3,469	153,477	567,034
合計	6,000	56,377		333,470		14,241	3,469	153,477	567,034

借入金の増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金	192,417	0	175,722	16,695
合計	192,417	0	175,722	16,695

役員からの借り入れ

理事長	16,695	0
-----	--------	---

令和2年度 財産目録

令和3年3月31日現在

(NPO法人コロボックル・プロジェクト)

科目・摘要	金額(単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金(現金手許有高)	80,396		
普通預金(肥後銀行上熊本支店)	67,730		
郵便貯金	4,163		
ろうきん預金	10		
未収金		0	
流動資産合計		152,299	
2 固定資産			
土地			
家屋			
車両			
固定資産合計		0	
資産合計		A	152,299
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金			
預かり金(職員に対する源泉所得税)			
流動負債合計			
2 固定負債			
長期借入金	16,695		
退職給与引当金			
固定負債合計		16,695	
負債合計		B	16,695
正味財産		C	135,604

C=A-B : 活動計算書E
貸借対照表D